

平成 28 年 6 月 22 日

国土地理院

地上型レーザ計測機を用いた熊本城復旧支援のための計測について

国土地理院は、熊本市からの要請に基づき、熊本城の石垣等の被災箇所を計測するため、5月17日～23日まで TEC-FORCE を派遣し、地上型レーザ計測機を用いて熊本城の計測を行いました。計測データは熊本市に提供され、熊本城の復旧のための基礎資料として活用されます。

1. 派遣期間

平成 28 年 5 月 17 日～23 日

2. 作業内容

石垣等の被害箇所のうち、熊本市からの計測要望のあった箇所について、熊本市職員立会いの下、レーザ計測を行いました。下図に計測箇所を表示します。



計測箇所（赤枠のエリア）

3. 熊本市による成果の活用予定

熊本城石垣の復旧にあたっては、データを基に石垣立面図や縦横断図を作成し、どの石材がどの位置まで崩壊しているかなどの情報から崩壊メカニズムの検討・修復設計に役立つほか、石垣勾配の設定根拠などに活用されます。

計測事例

○月見櫓跡



月見櫓跡付近(地上写真)

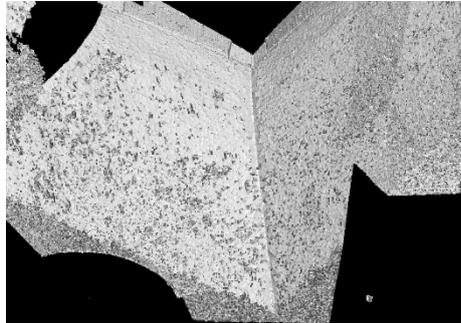


レーザ計測データの一部
(計測データと写真画像の合成表示)

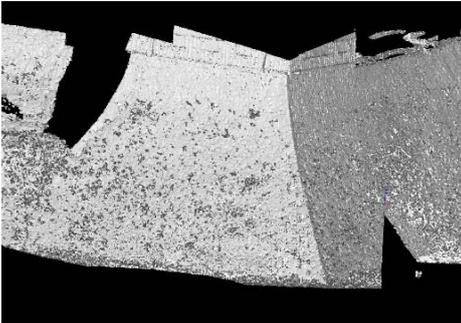
○宇土櫓下の石垣

レーザ計測した3次元データを使って、正面及び左右上下の方向から見た陰影表示の画像を作成しました。

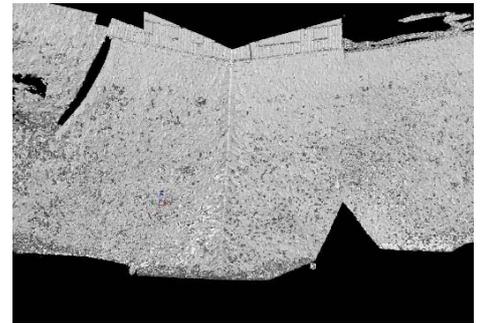
上方向



左方向



右方向



下方向

